

意見の要旨と教育委員会の考え方

1. 基本構想の全体に関すること

番号	意見の趣旨	教育委員会の考え方
1	・八王子市郷土資料館の基本理念として「八王子の歴史・文化を探求し、広く継承・発信するとともに未来へ向けて市民・地域との協働を育む博物館」というコンセプト及び基本方針としての1～4、更に<基本機能>、<新たに取り組む課題>は素晴らしく全面的に大賛成。	素案にご理解をいただきありがとうございます。パブリックコメントを踏まえて策定した基本構想を実現できるよう、ご意見を参考に、具体化に向けた検討を進めます。
2	・基本構想に、大いに賛同します。	
3	・多くの市民が八王子の歴史・風土・風俗を知り、未来志向を考案する場として「新郷土資料館」の基本構想に賛成いたします。	
4	・新資料館の基本構想には基本的には賛同いたします。	
5	・今回の基本構想素案の範囲が「医療刑務所跡地利用計画」とイコールなのか、一部なのか、分かりにくい。一体的な計画として示すべきではないか？同じ敷地なので、バラバラに検討しないほうがよいと考える。	新郷土資料館は、八王子医療刑務所移転後用地の活用について示した「八王子医療刑務所移転後用地活用計画」では、将来イメージである「新たな集いの拠点」及び施設コンセプトである「八王子の歴史と未来をつなぐ結節点」や「誰でも気軽に立ち寄れる居場所空間」を実現するための導入施設の一つである『次の100年につなげる「歴史郷土ミュージアム」』として計画されています。本基本構想は「八王子医療刑務所移転後用地活用計画」に即したものとなっています。
6	・さまざまな方に来ていただき、出来るだけ広く利用できたらよいと思う。	
7	・八王子市は多摩でも随一の歴史遺産に恵まれており、歴史をないがしろに扱うわけにはいかないと考えます。	本基本構想では、博物館の基本機能である「収集・保管」、「調査・研究」、「展示・公開」、「教育・普及」の充実を図るとともに、新たな機能として「集い・交流」、「協創」、「レファレンス・ガイド」、「ネットワーク」を位置付け、八王子の歴史や伝統文化を幅広く市民の皆様へ紹介し、関心を高めていただき、次世代へ伝えていく考えです。資料の充実やその公開を図り、地域の魅力を発信できるよう、検討を進めます。

8	<p>・市の様々な施策で、漏れている文言の一つに「高校生」の表現がある。郷土愛となれば、高校時代までに育成しておかないと、大学や就職以降は、忙しすぎたり、よそ地に行ったりで、郷土愛を身につける機会は少なくなる。</p>	<p>「高校」を次のとおり追記しました。 郷土資料館に来る機会が多くなかった高校生が郷土への関心を高めてもらえるよう連携先に「高校」を追記し、高校と連携した施設運営について検討を進めます。</p>
9	<p>・「彩りから輝きへ」という市制 100 年を飾るプロジェクトとして市民の期待がさらに高まるような明快さや大胆さがほしい。</p>	<p>ご意見を参考にし、今後策定する基本計画で検討を進めます。</p>
10	<p>・八王子市内の各施設（博物館、資料館）に対して、当資料館の位置付けを明確にし、本来果たすべき役割目的を明確にして欲しい。</p>	

2. 基本構想の各項目に関すること

(1) 基本理念について

番号	意見の趣旨	教育委員会の考え方
1	<p>・基本理念の中で、「八王子の歴史・文化を探求し、広く継承・発信するとともに」というこれまでの郷土資料館に求められてきた役割に加えて、「未来へ向けて市民・地域との協創を育む博物館」という新たな機能が謳われていることは、「八王子ビジョン2022」が「まちづくりの基本理念」で示している「みんなで幸せを紡ぐまち」そのものであり、強く共感します。</p>	<p>素案にご理解をいただきありがとうございます。ご意見も参考に、基本計画の検討を進めます。</p>

(2) 基本方針について

番号	意見の趣旨	教育委員会の考え方
1	<p>・「協創」という語句は平成27年策定の「都市づくりビジョン八王子」から採用された概念だが、従来の「協働」との関係があいまいなままのように感じる。「協創」の実践事例が積み重なっていればもう少し明快に説明できるのだろうが、現時点では市民の理解は進んでいるとは言えないと思う。</p>	<p>本構想では、協働を行政組織と民間組織が、それぞれの得意分野や特徴を活かし、お互いの自立性を尊重しながら対等な立場で固有の機能や役割分担を行いつつ連携し、共有した目的を達成することと考えています。本構想での「協創」とは、「郷土資料館と市民や利用者、市民や利用者同士が得意分野や特徴を活かし、力を出し合い、新しい取り組みを行うこと」と考えており、新しい事業やアイデアの創出に主眼を置いています。いただいたご意見も参考に、基本構想に基づいた基本計画の検討を進めます。</p>
2	<p>・「協働」という文言が変わって「協創」という文言が出てくるが、内容は「協働」と同じと思われる。このような市政の根本的なねらいについては、短期間ごとに別の表現に変えていかないと、以前から使われている文言「協働」に統一できないものか。</p>	
3	<p>・「サードプレイス」という語句は、市のさまざまな施設にも適用する語句とするならば、いささか陳腐な表現と思う。「サードプレイス」を冠した施設をネット検索すると、民間のレクリエーションや飲食施設にヒットし公共施設では見当たらない。</p>	

4	・「市民・地域とともに」という表現は、市民が主体に、という姿勢を表す言葉ではないように感じる。	市民主体という考え方は同じです。市民や利用者の皆さまと新郷土資料館も一緒に考え、責任を持って館の運営に携わっていく、協創により成長し続ける博物館を一緒に目指すという考えです。
5	・「持続可能な社会づくり」に向けた人材育成や教育を国際的な連携の下で推進する国連や日本政府のアクティブ・ラーニングやESD（Education for Sustainable Development）の活動拠点ともなるように、産官学市民が一体連携する舞台となるように育成していくことを目指し、新たな都市文化創造の継承と発展に寄与する道標となることが重要であるとする。	施設運営等のソフト面が重要であると考えており、またその運営に係る人材の育成も重要と考えています。本構想では基本理念として、未来に向けて市民・地域との協創を育む博物館としており、市民や地域、大学、企業等との多様な連携・活動を通じて、市民・地域とともに成長する博物館を目指すこととしています。ご意見も参考に、人材育成も含めた施設の運営体制について検討を進めます。
6	・「地域とともに協創し、成長する博物館」を目指すために、スタッフの専門性や熱意が育まれる人材育成が必要。そのためには、八王子の歴史や文化を愛し、かつ人間性あふれ親しみやすい資質を持つ専門職員を配置する必要がある。そして、八王子ならではの育成計画を立てて育てる。さらに、頻繁な人事異動を防ぐ措置を施す。	
7	・基本の4つの柱に追加し、「5.八王子の豊かな自然を生かし、未来につながる文化の土台となる姿のみえる博物館」と入れてほしい。八王子の歴史、文化の土台に自然環境がある。このつながりも大切にし、理解を深めたい。	ご意見のとおり、人びとのくらしや文化と自然は密接に関わっています。ご意見を参考に、2. 基本方針（2）の記述に、「人びとの生活を守り豊かにしてきた伝統文化や自然を伝えるとともに」という文言を追記します。

（3）機能の方向性について

番号	意見の趣旨	教育委員会の考え方
1	・設備面では既存の施設の活用とあるが、長期的な展望にたてば新博物館への集中が効率的と考える。	博物館の基本機能の充実とともに埋蔵文化財整理室、絹の道資料館等の既存施設の活用も図ることで、基本理念を達成できると考えています。ご意見も参考に収集・保管等機能等博物館機能の具体的な検討を進めます。
2	・基本機能「収集・保管機能」の充実があつてこそ、他の3つの機能が充実しうると考えます。	

3	<p>・新たに取り込む機能（１）に「誰もが気軽に立ち寄り」とあるが、具体的に「子どもを連れた若い世代が集える場所」と明記してほしい。</p>	<p>ご意見を参考に、第３章 新郷土資料館機能の方向性 ３－２．新たに取り込む機能（１）集い・交流機能の記述に、「子どもを連れた若い世代、高齢者、障害のある方、外国人などさまざまな利用者が快適に利用できるユニバーサルデザインを導入する。」と表記します。</p>
4	<p>・高齢者や障害者の方々も気軽に来て学習、体験、食事や会話を楽しむことができるようにするため、全国から視察に来る先進的なユニバーサルデザインを導入する。ユニバーサルデザインの対象には、八王子の国際化に向けて外国人を含める。</p>	<p>新郷土資料館は、市民や地域に広く開かれ、日常的に多くの人びとが集い、交流し、市内各地への回遊を促す拠点となることを目指しています。</p>
5	<p>・新たに取り込む機能（２）については、八王子の老舗のアンテナショップを展開してほしい。</p>	<p>機能の具体的な取組み内容については、ご意見も参考に、検討を進めます。</p>
6	<p>・「レファレンス・ガイド」などのような壮年者・高齢者にわからないような文言は、使ってほしくない。どんな市民にもわかるような表現にしたらどうか。</p>	<p>レファレンスは調べもののお手伝いと考えています。利用者が必要としている情報や資料を探し出して提供するサービスです。新郷土資料館は館内展示のほか、市内の各地への回遊を促す拠点を目指しています。ガイドはそれらの情報提供を行うという意味で使用しています。レファレンスとガイドという言葉と一緒に使用したため、あまりなじみの無い表現となりましたが、この活動をとおして親しみのある博物館機能にしていきたいと考えています。</p> <p>なお、図書館でも、調べもののお手伝いすることをレファレンス・サービスと表現しています。</p> <p>語句の表現につきましては、より分かりやすくなるように、取り組んでいきます。</p>

(4) 展示について

番号	意見の趣旨	教育委員会の考え方
1	<p>・様々な課題があるとは言え、「史料に語る」というのが八王子市郷土資料館における展示の基本姿勢のように思う。この姿勢はぜひ堅持してほしい。</p>	<p>当館の運営にご理解をいただき、ありがとうございます。本構想でも「展示・公開」、「教育・普及」においては、実物資料を積極的に活用するとしています。ご意見も参考に具体的な展示計画等について検討を進めます。</p>
2	<p>・八王子の歴史を古代から現代、さらに未来を表現して欲しい。</p>	<p>本構想では、歴史や文化をわかりやすく紹介・解説できる効果的な展示や体験型の展示を重視しています。展示内容につきましては、皆様からいただいたご意見も参考に、今後策定する基本計画や展示計画の具体化を進める中で検討していきます。</p>
3	<p>・八王子といえば千人同心であるため、その資料や研究結果を広く展示するのいいと思う。また、関東十八代官は千人同心と比べると市外での知名度が下がるため、これも詳しく展示するとよい。</p>	<p>本構想では、歴史や文化をわかりやすく紹介・解説できる効果的な展示や体験型の展示を重視しています。展示内容につきましては、皆様からいただいたご意見も参考に、今後策定する基本計画や展示計画の具体化を進める中で検討していきます。</p>
4	<p>・近代の戦争に関わる展示や企画を今まで以上に充実させる新しい郷土資料館であってほしい。</p>	<p>本構想では、歴史や文化をわかりやすく紹介・解説できる効果的な展示や体験型の展示を重視しています。展示内容につきましては、皆様からいただいたご意見も参考に、今後策定する基本計画や展示計画の具体化を進める中で検討していきます。</p>
5	<p>・八王子の名物風景であったのこぎり屋根を残せないか。</p>	<p>本構想では、歴史や文化をわかりやすく紹介・解説できる効果的な展示や体験型の展示を重視しています。展示内容につきましては、皆様からいただいたご意見も参考に、今後策定する基本計画や展示計画の具体化を進める中で検討していきます。</p>
6	<p>・おはやしや太鼓などの伝統を継承できる場をつくる。</p>	<p>本構想では、歴史や文化をわかりやすく紹介・解説できる効果的な展示や体験型の展示を重視しています。展示内容につきましては、皆様からいただいたご意見も参考に、今後策定する基本計画や展示計画の具体化を進める中で検討していきます。</p>
7	<p>・松姫様関連の展示も検討して欲しい。</p>	<p>本構想では、歴史や文化をわかりやすく紹介・解説できる効果的な展示や体験型の展示を重視しています。展示内容につきましては、皆様からいただいたご意見も参考に、今後策定する基本計画や展示計画の具体化を進める中で検討していきます。</p>
8	<p>・八王子市には遺跡が数多くあるが、湯殿川を主題とした、湯殿川で発見された象から始まる長い歴史を、人の暮らしを主に動画（プロジェクションマッピング）で展示していただきたい。</p>	<p>本構想では、歴史や文化をわかりやすく紹介・解説できる効果的な展示や体験型の展示を重視しています。展示内容につきましては、皆様からいただいたご意見も参考に、今後策定する基本計画や展示計画の具体化を進める中で検討していきます。</p>
9	<p>・17世紀から20世紀にかけて八王子で栄えた養蚕や織物の文化について、糸つむぎや機織りを体験しながら学べる。</p>	<p>本構想では、歴史や文化をわかりやすく紹介・解説できる効果的な展示や体験型の展示を重視しています。展示内容につきましては、皆様からいただいたご意見も参考に、今後策定する基本計画や展示計画の具体化を進める中で検討していきます。</p>
10	<p>・石器時代から縄文、弥生時代までの八王子でも行われていた暮らしぶりとして、火おこし、土器や須恵器の陶芸を体験できる。石器時代には八王子にステゴドンゾウ、ヒゲクジラがいたことから、気候変動による気温や海面の変化を体感できる。</p>	<p>本構想では、歴史や文化をわかりやすく紹介・解説できる効果的な展示や体験型の展示を重視しています。展示内容につきましては、皆様からいただいたご意見も参考に、今後策定する基本計画や展示計画の具体化を進める中で検討していきます。</p>

11	<p>・江戸時代に大久保長安が行った八王子宿の開発、浅川の治水事業、千人同心の組織化など昔のまちづくりについて、市民や児童・生徒・学生による演劇や映像系学部を備えた大学や専門学校の学生と地域の歴史研究グループとの協働で制作した動画を観ながら学べる。</p>	
12	<p>・見て学びやすい展示物の充実と工夫。</p>	
13	<p>・展示・公開については「新八王子市史」の見える化に取り組んでほしい。多角的で体系的なこの大きな業績に、市民のみならず多くの人々が親しく接することができるように、市史編さん室とも連携してぜひ実現していただきたい。</p>	
14	<p>・資料館で見たり、学んだりしたものが現在、どの場所で、どの様な痕跡を残し、発展、維持されているのかを、多くの方々が現場へ行って見識を深められるよう、現場に導く工夫をしてほしい。</p>	
15	<p>・観光と博物館において、学術性を大切にすべき。学術情報を堅苦しいものと排除して、形骸化した「八王子」を見せても、単にコミュニティスペースでしかなくなる。展示は堅苦しい研究発表でなく、一般観覧者に「面白い切り口だ」と感じて頂ける展示であるべき。</p>	
16	<p>・観覧者増を見込んだいわゆる「懐かしい展示(回想法展示)」は、郷土資料館で行うべきではないと考える。</p>	
17	<p>・現在の展示からは資料に示される歴史と現代が今一つ繋がって感じられない。展示においては「一貫した大きな流れ」を意識していただきたい。また、現在の八王子に残る過去の遺構をもっと前面に押し出せば、過去の歴史がより身近に感じられるのではないか。</p>	

18	・現在の郷土資料館の展示は全体的に暗く、地味でネガティブなイメージが拭い切れない。一番に目が行く説明事項については、出来るだけ明るく新鮮なイメージを維持してほしい。	新郷土資料館は、「市民や地域に広く開かれ、日常的に多くの人びとが集い、交流し、市内各地への回遊を促す拠点」となることを目指しています。また、体験型の展示等、歴史や文化をわかりやすく紹介・解説できる効果的な展示を重視しています。小学生から高校生までを含む子ども・学生・若者により親しまってもらえる博物館を目指し、学校等との連携強化について検討を進めます。
19	・現存する「銭湯」も郷土資料として保存の応援をする。	
20	・展示は、若者にも楽しむ事の出来るものであって欲しいと願っている。一番の理想は、デートで郷土資料館を訪れたいと感じる施設である事。その位、お金を多くかけずとも、何気ない部分から見えてくる面白さを共有できる施設である事が大切。新郷土資料館は、懐かしい展示のアミューズメントパークでなく、色々な八王子を知るための施設であるべき。	
21	・子ども向けの地域資料が少ないことも気になっている。小学生でも楽しく読めたり学べたりできるような資料の収集や、作成もして、子ども郷土室のような部屋もあると良い。	
22	・子どもたちに、郷土愛をはぐくむ仕掛けを取り入れる。	
23	・体験できる展示、実物に触ることのできる展示を今まで以上に増やしてほしい。特に将来を担う子供達に歴史をより実感として学んでほしいと思う。	
24	・八王子の文化や郷土の歴史を次の世代に伝えていくために、若い人が楽しみ集う（幼児、小学生～高校生、その保護者）場所であればならない。貴重な郷土資料の展示や保管をするスペースと、気軽に触れたり体験できる場所を館内に整備してほしい。	
25	・どんなに立派な施設でも、貴重な資料があったとしても、一部の人しか利用しないような施設にならないように、具体化するときは大学生など若い人の意見が反映されるようにしてほしい。	

26	<p>・学校教育との融合をもっと。今もやっていると思うが、もっと。子どもたちが故郷の昔を知る経験を積めるように、あちこちに郷土資料を残しておいて、各学校がそれぞれの場所に授業で訪問できるようにしてほしい。</p>	
27	<p>・教育機関とのさらなる連携を望みます。八王子市は教育機関とりわけ数多くの大学が立地しています。大学には多くの研究成果が集積されていますが、市民に向けて開放されているとは言い難く、一方で博物館は市民に向けて分かりやすく伝えるノウハウがあります。新施設と大学が結集して連携することにより、多くの知識・情報を市民に提供できると考えます。大学には様々な分野の研究者が在籍しており、八王子の歴史・文化のみならず、八王子を中心とする多摩地域の多様な自然やその成り立ちを学ぶなど、多彩な分野を網羅した教育施設となることを望みます。</p>	
28	<p>・月一度程度は、児童・生徒が理解しやすい教師などを講師として、講師による学びの機会をつくる。</p>	
29	<p>・児童・生徒には学習の一環として、見学の機会を市送迎バスを流用して実施する。</p>	
30	<p>・郷土資料館は子どもたちや市民が日々学び研鑽して、市民の学校として発展されることを期待する。</p>	
31	<p>・整備された施設における活動は、従来の類似施設に見られるような展示を中心とした静的なものではなく、その機能や情報の質などのソフトを充実し、多くの人々に受け入れられる参加体験価値の高い、動的、斬新性などを重視したものとする必要がある。</p>	

32	<p>・新たな博物館は自然史系分野を取り入れた博物館にして行くべきと考える。基本構想（素案）には、新たな博物館として「市民や地域に広く開かれ、未来へ成長し続ける博物館」とその趣旨をうたっている。高尾山をはじめとする豊かな自然環境を後世に伝え、そして市民生活に活用していくことこそ、未来へと成長し続けることにならないか。</p>	<p>新郷土資料館は、歴史系博物館として基本理念及び基本方針の検討を進めていきます。本構想では、歴史や文化をわかりやすく紹介・解説できる効果的な展示や体験型な展示を重視しています。なお、自然は人びとのくらしや文化と密接に関わっていることから、2. 基本方針（2）の記述に、「人びとの生活を守り豊かにしてきた伝統文化や自然を伝えるとともに」という文言を追記しました。展示内容につきましては、具体化を進める中で、ご意見も参考に検討を進めます。</p>
33	<p>・八王子の歴史遺産として、原始、古代から現代に至る遺跡、化石、宝物類(薬王院の寺宝含む)、文化遺産として、古文書類、資料等の遺産、自然・生態系遺産として、高尾山の環境保護に対する訴求、昆虫、植物類の標本遺産を展示、保管する施設の創設が必要だと考える。</p>	
34	<p>・尾瀬のような自然体験観光コースとして、虫捕りコースを作ってみる等、自然体験コースを設ける。</p>	
35	<p>・自然エネルギー博物館を兼ねる。</p>	
36	<p>・資料館内だけで終わらずに、外部に現存する他の類似施設ともリンクさせてほしい。絹の道資料館の存在も館内に表現するなど。</p>	
37	<p>・絹の道資料館など、回遊を期待する施設については、時期を合わせたリニューアルの実施も検討が必要と考える。</p>	<p>本構想の実現については、既存施設の活用も図りながら目指すこととしています。ご意見も参考に、本構想の具体化に合わせて他施設との連携について、検討を進めます。</p>
38	<p>・高尾 599 ミュージアムでの補完も含め、資料館においては文化面から高尾山での観光を案内するなど、相乗効果を発揮できればよいのでは。</p>	

3. 施設に関すること

番号	意見の趣旨	教育委員会の考え方
1	・路線バス観光バス、一般自動車の駐停車の場所から建物の入口までの距離が、あまり長いと、歩く距離が長くなるため、子ども・高齢者が来場しづらくなり、来館者が減少する。それを防ぐため、建物の入口と交通機関の駐車場所との距離を短くする。	八王子医療刑務所移転後用地活用計画の将来イメージである「新たな集いの拠点」及び施設コンセプトである「誰でも気軽に立ち寄れる居場所空間」を実現するためには、交通の利便性・アクセスに関する事項は、重要であると考えています。複合機能施設である新たな集いの拠点施設全体で検討を進めます。
2	・八王子駅北口及び京王片倉駅から遠まわりせず、無理なく建物入口に到達できるように、建物入口への東西南北通路を確保する。周辺は傾斜地のため、長い距離歩くのは大変だと思われる。また、東西の道路へも、短時間で出られる様にする必要がある。	
3	・高尾山への足となる京王高尾線から徒歩圏内に位置しており、施設南側からのアクセスに配慮すべき。	
4	・はちバスのルートに郷土資料館を組み込み、気軽に出かけられる場所としてほしい。	
5	・施設への便利なアクセス方法と宣伝を増やす。	
6	・小中学校で郷土学習は必ず行う。そのための資料を市立図書館と協力して整備してほしい。	本構想では、新たに取り込む機能として「ネットワーク機能」を位置づけています。小中学校との連携は重要と考え、連携を強化し、郷土学習プログラムの共同開発を記述しています。図書館との連携については、ご意見も参考に、「新郷土資料館」及び「八王子医療刑務所移転後用地活用計画」に示されている「憩いライブラリ」の具体化とともに検討を進めます。
7	・児童用図書館（児童コーナー）があるとなおよい。	
8	・調べ学習などのときに、学校からネットで動画コンテンツや電子蔵書にアクセスできる。また、調べたことを体験するために、本施設での校外学習を実施するなど、学校教育との高水準の連携を図る。	
9	・図書館の蔵書と同様に、ネットワーク化により蔵書を明確にする。	
10	・府中市郷土の森博物館と川越市博物館を参考にしてほしい。小中学生でも分かり易い、映像や音声での紹介、案内人に依る説明。ブース別展示(特別・常設)ギャラリー・講座教室・講演会場等がそろっている。	本構想では、歴史や文化をわかりやすく紹介・解説できる効果的な展示や体験型の展示を重視しています。他の類似施設を参考にしつつ、ご意見も参考に、検討を進めます。

11	・他博物館、資料館の最新の傾向（インフラ等の最新化等々）に考慮し、それを目玉としてアピールできるポイントを盛り込んで欲しい。	
12	・建物は奇をてらわず、オーソドックスに。多摩の自然の一部の施設であってほしい。	複合機能施設となりますので、導入施設の具体化に合わせ、ご意見も参考に、検討を進めます。
13	・30～100 人程度の人が収容できる部屋を設け、講習会やサークル活動、子どもの科学教室、小中学生の利用促進につなげる。	歴史や文化を学び、次世代への継承、集い・交流、市内各地への回遊を促す拠点となることを目指していますので、基本方針である
14	・講演会や企画展、生涯学習教育、集い交流の場として 100～150 人が集まれる小ホールを設ける。	「四つの目指す博物館像」を実現するために必要な機能について検討を進めます。その他の機能については、複合機能施設である新たな集いの拠点施設の検討を進める中で、ご意見も参考に、実現性も含め、検討を進めます。
15	・八王子市内の観光地を詳しく知ってもらい、訪ねてもらうため、八王子市の観光地の案内所を設ける。また、市外の関連機関の案内もでき、ネットワークの中心的機能をはたせる様にする。	
16	・調理科・栄養士科などがある地域の学校の学生が、八王子市内の若手の営農家、酪農家などから調達した食材を使って、敷地内に設営する子どもメニューもあるレストランを運営する。	
17	・地域の伝統芸能を継承する団体（市内学校の部活動メンバー含む）が、説経節、車人形などを伝え、学べる小ホールを確保する。	
18	・カフェのような雰囲気の中で、本施設での体験を通して感じたことや考えたこと、あるいは日ごろの市民活動や NPO 活動を促進する場として、仲間とワークショップスタイルなどで気軽に会話でき、ライブラリで詳しい資料にあたって理解を深められる「フューチャーセンター」を設置する。	
19	・新施設は、博物館としての機能を充実させるだけでなく、市民の生涯学習の中心となる施設となることを望みます。博物館とそれに付随する事業のみで訪れるだけでな	

	く、市民が何度も利用できる場所とするには、ホールや講義室、図書室、作業スペースなどを備えた多目的な施設を目指し、利用を促進させる必要があると思います。	
20	・市民が自主的に文化活動や教育活動の拠点として利用できればよいと思います。	
21	・広大な敷地を生かして、他施設もふくめて企画展などのイベント時に相互に活用、シェアするなど柔軟に対応できるスペースと構造が長期的には求められる。	
22	・八王子車人形をはじめとした伝統芸能の定期・定時の講演が観られるようにしてほしい。	
23	・駅からの徒歩圏内である立地条件の利点を生かし、フラットなホール（音楽演奏、トークイベントに使用）、もしくは50～100人ほどのロビーの延長のようなスペースを併設し、芸術の発展の場を作ってください。新郷土資料館の中に、多目的に使える要素も含み、建ててもらいたいです。	
24	・JR八王子駅徒歩圏内の地の利を生かし、稼働率を高めるためにも“八王子こどもの城”を設ける。	
25	・「集い・交流機能」については、資料を参考に自習を行えるスペース、商業施設（カフェなど）や憩いの場などがあれば、魅力的な施設群を構成できるのではないかと。	
26	・高台の傾斜地にある利点を生かし、市街地が展望できるよう、建物の上層階に市内全体が展望できる場所を設ける。東西南北が見えればよいが、少なくとも北側市街地が見えるとすばらしい。	
27	・自然から受ける恩恵をバックグラウンドに十分生かすため、館内のエネルギーは太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマスなどを取り入れたものにする。	

28	<p>・当時の空気を感じるよう、当時使われた材料を使い、外観を作る。残された樹木等を利用し、八王子市の原風景の再生をする。材料などが劣化したときに行う修復工事が大工育成も兼ねると今風です。</p>	
29	<p>・リピーターの呼べる新しい発見のある施設にしてほしい。このような施設の場合、ややともすれば、1回見たあとは、2回目以降はことさら訪問する必要を感じない運営になりやすい。ぜひとも、新しいとりくみ、今後の八王子を活性化する楽しさをふんだんに取り入れてほしい。</p>	
30	<p>・市民どうしが、何かを創ったり、コミュニケーションできる場にしてほしい。</p>	
31	<p>・ジイジバアバと子どもたちが、接して、つながりをもてるような場をつくってほしい。昔のまちなみ風の一角を創って、ここでは、超高齢者も赤ちゃん子どもも、安心してゆっくり憩える場をつくってほしい。</p>	
32	<p>・郷土資料館の利用者数減少は全国的なものとして認識しているが、たいていの場合、それら施設は「調べる」「学ぶ」ことに重きを置きすぎ、目的ない利用者を受け容れる雰囲気も機能も持ち合わせていない。例えば代官山「T-SITE」のように、“本を買う、読む”と“集う、憩ろぐ”機能を高い次元で融合していただきたい。</p>	
33	<p>・資料館の中に、子どもたちの安心・安全な居場所となるスペースを併設し、子どもたちに学びや遊びの機会を提供する。やってきた子どもたちが、ふと目を転じれば資料館だったという具合に、ごく自然と郷土について触れるきっかけが創出できることが望ましいと考える。</p>	
34	<p>・八王子は古い街であると同時に、学生たちが集う若者の街でもある。あらゆる世代が共存できる空間作りに注力していただきたい。</p>	

35	<p>・八王子の歴史的特色は「都市文化の継承と発展」であり、八王子市民のプライドの向上のためにも、また、新たなまちの創造のためにも、「まちづくりの視点」から市民や来街者が「研究・学習・体験できる施設」の設置が必要であり、八王子独自の歴史・文化を広く発信するとともに、広域からの交流人口の導入施設として位置づけ、整備・運営を行うことが必要であると考えます。</p>	<p>本構想の基本理念は、「八王子の歴史と文化を探求し、広く継承・発信するとともに、未来に向けて市民・地域との協創を育む博物館」としており、八王子の歴史と文化を学び、守り、広く伝えるとともに、協創の考えを重視し、市民や地域に開かれ、未来に向けて成長し続ける博物館を目指すとしています。ここでは、八王子の歴史・文化を専門家による調査・研究を基に、広く発信するとともに市民の皆さまや利用者による調査・研究とその成果の発信も期待しています。ご意見も参考に、具体的な事業内容について、検討を進めます。</p>
36	<p>・特徴のない八王子市中心市街地の状況を解消するとともに、まちのランドマークとして、中心市街地の活性化にも大きく寄与する施設を考えるべき。そのためには、「近世城郭都市」「宿場・街道都市」「繊維産業都市」「先端工業都市」「学園都市」として発展してきた八王子の、様々な歴史文化拠点をネットワークする「情報文化拠点」としての中心性を明確にもったプロジェクトに育成していくべき。</p>	<p>本構想の基本理念は、「八王子の歴史と文化を探求し、広く継承・発信するとともに、未来に向けて市民・地域との協創を育む博物館」としており、八王子の歴史と文化を学び、守り、広く伝えるとともに、協創の考えを重視し、市民や地域に開かれ、未来に向けて成長し続ける博物館を目指すとしています。ここでは、八王子の歴史・文化を専門家による調査・研究を基に、広く発信するとともに市民の皆さまや利用者による調査・研究とその成果の発信も期待しています。ご意見も参考に、具体的な事業内容について、検討を進めます。</p>

4. その他

番号	意見の趣旨	教育委員会の考え方
1	<p>・「郷土資料館」の名称を「博物館」に変更することを提案する。旧東京市について長い歴史を持つ八王子市としては、中核市という指定都市であることも考え合わせれば、ストレートに「博物館」と名称変更して、内外に広く周知を図っていく好機ではないか。</p>	<p>新郷土資料館の名称につきましては、大変重要な事柄であると認識しております。ご意見も参考に、施設の具体化の進行状況に合わせて基本理念にふさわしい名称の検討を進めます。</p>
2	<p>・従来の「郷土資料館」から、サードプレイス型博物館に生まれ変わるのにふさわしい施設名称を市民から公募する。</p>	
3	<p>・愛称としてさらに親しみの持てる名称を制定すべき。ただし、八王子市のなりたち、根幹を示す場であるため、ネーミングライツの採用は避けるべき。</p>	
4	<p>・単純な学芸員の再配置ではなく、しっかりとしたサービス業の経験を持つような人材に、歴史・文化・観光・教育を横断的に扱えるサービスを提供していただきたい。</p>	<p>新郷土資料館の機能を発揮するためには、運営ソフト面の充実も必要と考えています。ご意見も参考に、運営体制について検討を進めます。</p>
5	<p>・館の学芸員を充実させ、学校の教員の人事制度と同様に、彼らを専門職と位置付けてゆかねばならない。政治行政の眼目は人づくりに尽きると考える。</p>	
6	<p>・学校での郷土学習に外部指導者として学芸員の方が出張できるような体制を作してほしい。</p>	
7	<p>・昨年度から八王子市で始まった市外から着任した教員向けのバスツアー研修などで本施設を積極的に活用し、新たな職場地域への関心や理解向上を図る。</p>	
8	<p>・体験(ワークショップ)は、子ども中心が多く見受けられるが、大人も参加できるものであるべき。また、ワークショップはお土産として持ち帰る事の出来るものが大切。お土産は、モノだけでなく、コトでも良い。</p>	<p>だれもが気軽に立ち寄れる学び・交流の場や機会を提供する施設を目指しており、ご意見も参考に、だれもが参加できるように体験プログラムおよび体験学習の充実について、検討を進めます。</p>

9	<p>・体験した製作物などの完成品やレプリカをお土産として購入して「持ち帰れるミュージアム」を目指す。</p>	
10	<p>・八王子市は市域が広いために魅力的な文化施設が散在し、利用しづらい。一か所でも文化的な施設が集まっていると八王子の文化度が上がると思う。南口のオリンパスホールから、新郷土資料館、そのエリア内に子ども図書館や公園緑陰のある新しい地域の拠点となることを願っている。</p>	<p>「八王子医療刑務所移転後用地活用計画」では、新郷土資料館は「みんなの公園」や「憩いライブラリ」とともに複合機能施設として位置づけられ、「みんなの公園」は防災機能を備えることとしています。ご意見も参考に、複合機能施設の機能を発揮できるように検討を進めます。</p>
11	<p>・広大な土地となるため、緊急時の市民の防災拠点として機能するよう設計するのが望ましいと考える。</p>	
12	<p>・入場料収入だけでなく、体験料、飲食料、利用料、購入料など、多面的な収入を可能とし、持続可能な経営基盤を確保する。</p>	<p>施設の維持管理については、適正な公共負担のあり方や運営経費確保の仕組み等の検討、魅力向上に向けたマネジメントが必要と考えています。ご意見も参考に検討を進めます。</p>